

今後新たに行う取組について （①科学の名所100選（仮称））

文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課

科学の名所100選(仮称)の目的と事業のポイント

○基礎科学力の強化に関するタスクフォース(議論のまとめより)

4. 基礎科学力強化に向けた対応策

(5) 社会全体で科学を文化として育む

①科学に関する国民意識の向上のための機運の醸成

【平成30年度以降速やかに取り組むべき事項】

- ✓ 科学を身近に感じられ、魅力ある地区等を国が認定し表彰を行う「科学の名所100選(仮称)」を創設し、各地域に根付く様々な分野の科学を国民が再認識するとともに、観光産業との連携によって、地域の活性化を図る。



1. 各地域に根付く様々な分野の科学を再認識
2. 地域の活性化(観光産業との連携)



いかに継続して「出かけて」いただけるか??

- 「100」という数や「名所」にこだわらず、継続して地域の科学を発見できるような事業形態
- 地域に訪れるきっかけとなる「ストーリー」に着目した認定方法も必要ではないか
- 認定後の「品質管理」が課題

前回の検討会における議論のポイント

- 「100」という数、名所（場所）にはこだわらない
- 観光資源のひとつとしての活用
- 宣伝の場の設定
- 体験できる場があること
- 地域で生まれた科学技術に着目



- 広く提案を受け以下のコンセプトに合致するものについて、HP等に公表する
 - ✓ 地域で生まれた科学技術に関するものであること（ひと、もの等形態は問わない）
 - ✓ 当該地域ならではの体験ができること
 - ✓ 積極的に誘客に努めるなど、地域の魅力向上につながる活動が盛んであること
 - ✓ 上記のほか、その年の科学技術週間に特に注目すべき点があること
- 推奨する地域は、以下の取組を文部科学省が実施
 - ✓ 名選が集い、名所や地域の魅力をPRできる場を設定
 - ✓ 科学の体験（観光）モデルコースを地域と共に作成し、科学技術週間HPで発信
- 関係省庁、企業等との連携を行うための協議会を設置し、今後の事業展開について検討
 - ✓ 事業名称、HPを活用した事業展開
 - ✓ 海外への発信、観光等の観点を踏まえた科学の魅力発信方法

科学の名所100選(仮称)のスケジュール感

